

区分：人文・社会科学

授業科目名	言語と芸術（美術）				学期	曜日	校時
英語名	Language and Art (Art)						
担当 教官名	中川 泰	単位数	2単位	必修 選択	選択	後期	木曜日 校時
授業のねらい・内容・方法							
<p>美術は創造的な雰囲気の中で、教育と社会の今日的な課題の解決に積極的にかかわるものである。このため、常に社会に開かれた今日的な広い視野をもち、美術の表現と鑑賞が、相互に深くかかわり合い、高め合うことを重視しなければならない。本授業では、美術における表現の喜びや感動を学ぶことがねらいである。実技を絡めながら、人間を日常的なしほりから開放したり、身近な環境との出会いや交流を可能にするような自由な発想、多様な表現方法について考える。</p>							
テキスト、教材等							
<p>教科書は使用しない。 参考書については適宜紹介する。</p>							
対象学生	成績評価の方法				教官研究室		
全学部	出席重視 作品及びレポートなど総合的に評価する。						
授業計画							
<p>第1回 オリエンテーション 第2回 美術表現の原点 第3回 美術表現の意義と役割（1） 第4回 美術表現の意義と役割（2） 第5回 現代美術にみる事例（1） 第6回 現代美術にみる事例（2） 第7回 「みたて」によるコラージュ（1） 第8回 「みたて」によるコラージュ（2） 第9回 写真をもとにした画面構成（1） 第10回 写真をもとにした画面構成（2） 第11回 アートによるプログラムの考察（1） 第12回 アートによるプログラムの考察（2） 第13回 アートによるプログラムの考察（3） 第14回 まとめ 第15回 予備日</p> <p>留意すること：</p> <p>問題意識ををもって受講して欲しい。 材料用具は個人負担であり、準備物は不可欠である。また、制作に必要な時間には個人差があり、作品完成のために時間外での制作を必要とする。</p>							